

行財政委員会

行財政委員会に付託された案件は13件。

1月16日に開催し、第一部で総務部・開発部所管分を、第二部で民生部・教育部所管分の審査を行いました。

第1部



◆「第2次弥富市総合計画の基本構想について」

問 JR・名鉄弥富駅橋上駅舎化に向けて現在までかかった費用は。

答 1億1千万円程度。

問 これまでの費用が無駄にならないよう計画どおり実行すべきでは。

答 費用対効果を考えている。住民の要望は承知しているが、市としては駅周辺と近鉄北口からJR・名鉄弥富駅にかけての整備を合わせ、大きな計画を考えている。広く意見を聞き事業を進めたい。

問 狭あい道路に対する市の考え、今後の見通しは。

答 引き続き事業を進めていきたい。



▲市内に点在する狭あい道路

◆「弥富市運動広場条例の一部改正について」

問 八穂グラウンドの駐車場の確保は。

答 以前ゲートボール場であった所を整備し、駐車場として確保する。

問 市民であればスポーツをした後、いこいの里の風呂を利用できるか。

答 開館している平日・土曜日であれば利用可能。



▲八穂グラウンドに整備された駐車場

付託された案件は全て原案を了承しました。

常任委員会の構成が変わりました

12月25日の定例会初日に議員提案により弥富市議会委員会条例の一部改正など2議案が賛成多数で可決され、従来の2常任委員会（総務建設経済委員会・厚生文教委員会）が統合され、**行財政委員会**となりました。

これは、全議員で市政全般にわたる問題点、行政の方向性、タイムリーな情報を共有し、市民への情報発信を確実に速やかに行うために改正されたものです。

なお、同日に行財政委員長に平野広行議員、副委員長に鈴木みどり議員がそれぞれ選出されました。



免震用オイルダンパー検査に立ち会いました

10月16日付けで、国土交通省より「KYB株式会社及びカヤバシステムマシナリー株式会社が製造した免震・制震オイルダンパーの国土交通省大臣認定等への不適合」についての公表がありました。その結果、全ての免震用オイルダンパーが所定の基準を満たすことが確認されました。現在建設中の本市新庁舎も、カヤバシステムマシナリー株式会社が製造した免震用オイルダンパー12基を設置予定でしたが、製品の品質確保が確認されるまでは、納入を見合わせておりました。

国土交通省は、メーカーに対し、性能確認試験を第三者による全数立会いの下で行うことを指示しました。

これを受け、新庁舎に設置予定の免震用オイルダンパー12基全てを、12月18日と12月20日の2日間で、カヤバシステムマシナリー株式会社三重工場にて、第三者機関である（一財）日本建築セン

